

第9章 第二部、短期大学部および通信教育部学生の実態

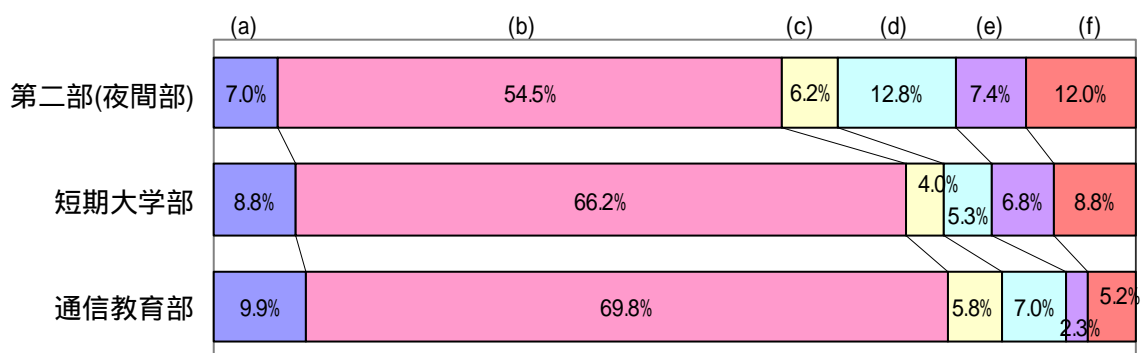
1. 勉学態度

(1) 全体

通信教育部は、第二部および短期大学部に比べて、授業や教科書を中心とした勉学態度で、かなり積極的である。

比較的積極的な勉学態度(「授業や自主的テーマで積極的な勉学」および「教科書・ノート中心に必要単位を取得」)を示す学生の比率をみると、通信教育部(79.7%)、短期大学部(75.0%)、第二部(62.5%)で、通信教育部の学生の授業や教科書を中心とした積極的な勉学態度がうかがえる。

図9-1 勉学態度(平成15年度)



- (注) a : 授業や自主的テーマで積極的な勉学
b : 教科書・ノート中心に必要単位を取得
c : 授業より自分で積極的勉学
d : 授業より人生・社会問題、課外活動
e : 適当に他人のノートのコピー利用
f : ただなんとなく過ごしている

(2) 勉学態度の経年変化

勉学態度は、年々向上している。

積極的な勉学態度を示す学生の比率について、平成6年度から増加ポイントを見ると、通信教育部が今回の調査で前回に比較して約10ポイント減少したものの、いずれの学部も増加しており、勉学態度は年々向上しているといえよう。

表9 - 1 勉学態度の経年変化

(「授業や自主的で積極的な勉学」+「教科書・ノート中心に必要な単位を取得」の比率)

(単位：%)

年度 学部	昭和 63年度 (a)	平成 3年度 (b)	平成 6年度 (c)	平成 9年度 (d)	平成 12年度 (e)	平成 15年度 (f)	増加 ポイント (f) - (c)
第二部(夜間部)	44.6	50.2	51.6	56.4	59.0	61.5	9.9
短期大学部	44.8	56.5	65.8	63.9	65.3	75.0	9.2
通信教育部	-	-	69.4	82.8	90.5	79.7	10.3

2. 授業態度

通信教育学部は、「専門科目（必修、必修以外）」において昼間部や夜間部よりも高い。

第二部は「総合教育（一般、基礎）科目」で67.8%が熱心に授業を受けている。

短期大学部は、全ての科目において昼間部全体の平均を上回わり、授業に対して熱心である。

表9 - 2 「授業に熱心」+「まあまあ熱心」の合計

	基 礎 合 計 教 育 目 （ 一 般 ）	外 国 語 科 目	保 健 体 育 科 目	（ 専 門 修 科 ） 目	（ 専 門 修 科 以 外 ）
第二部（夜間部）	67.8	47.9	62.0	49.6	50.4
短期大学部	60.7	55.0	77.3	69.8	62.4
通信教育学部	54.7	53.0	48.9	75.6	62.2
（参考）第一部	51.0	52.8	60.2	51.2	54.7

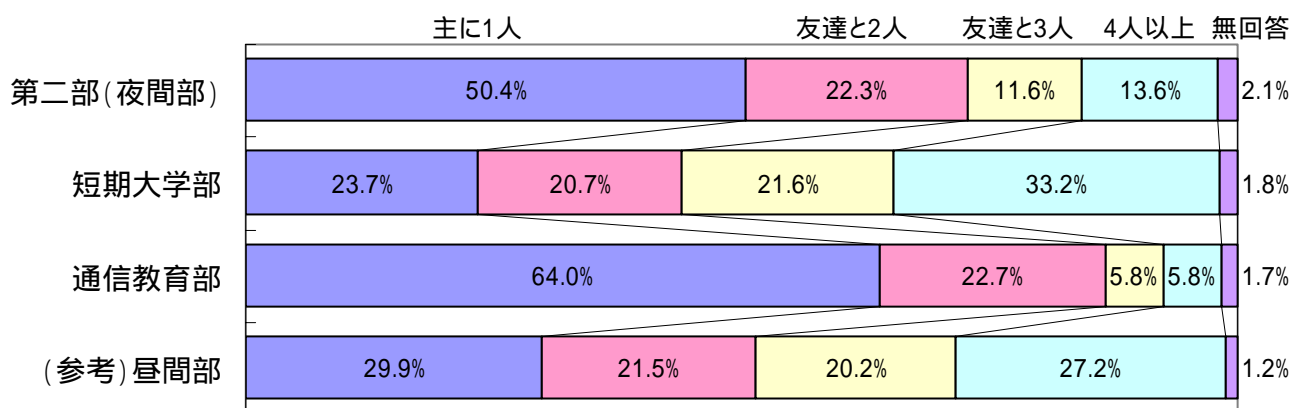
3. 休講・空き時間の過ごし方

「空き時間を1人でいることが多い」という学部は、通信教育部である。

「空き時間を1人でいることが多い」という人の比率は、通信教育部（64.0%）、第二部（50.4%）、短期大学部（23.7%）となっており、通信教育部は主に1人で過ごす比率が圧倒的に高い。

一方、短期大学部は「主に4人以上の友達といることが多い」の比率が33.2%で、最も高い比率を占めている。

図9-2 空き時間に過ごす友達の数



これらの学生が、主にどんな休講や空き時間を過ごしているのかについて整理すると以下のようになる。

第二部(夜間部)の学生 学校周辺の店(42.1%)、学生食堂(35.1%)

図書館(28.1%)

短期大学部の学生 図書館(53.9%)、学生食堂(31.0%)

校内ブラブラ(22.9%)

通信教育部の学生 学校周辺の店(40.7%)、図書館(35.5%)

空いた教室(33.7%)

4. 学生生活充実感と満足・不満足

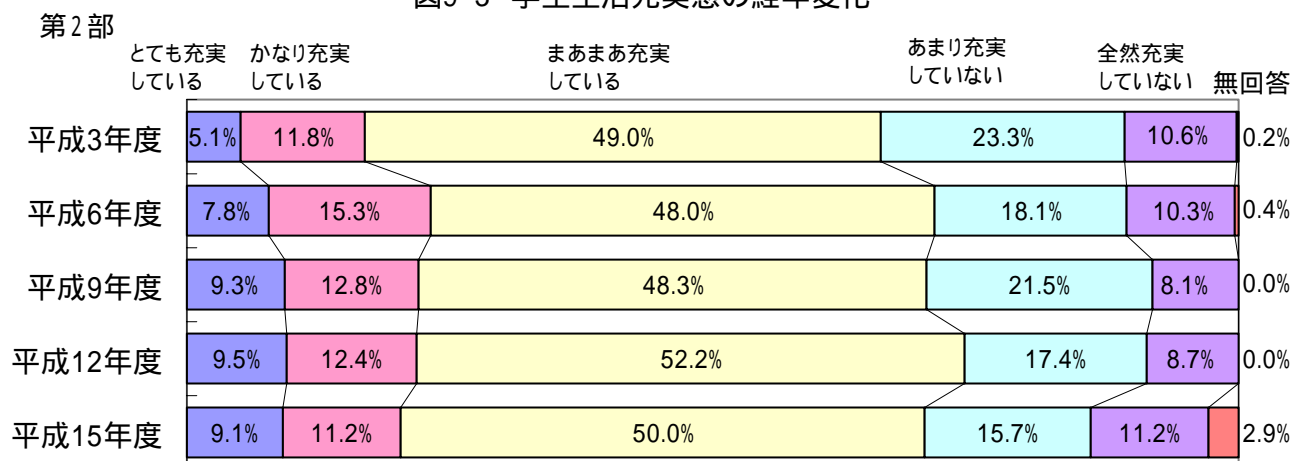
(1) 学生生活充実感

学生生活充実感が増加しているのは、通信教育部である。横ばいあるいは減少傾向にあるのは、第二部と短期大学部である。

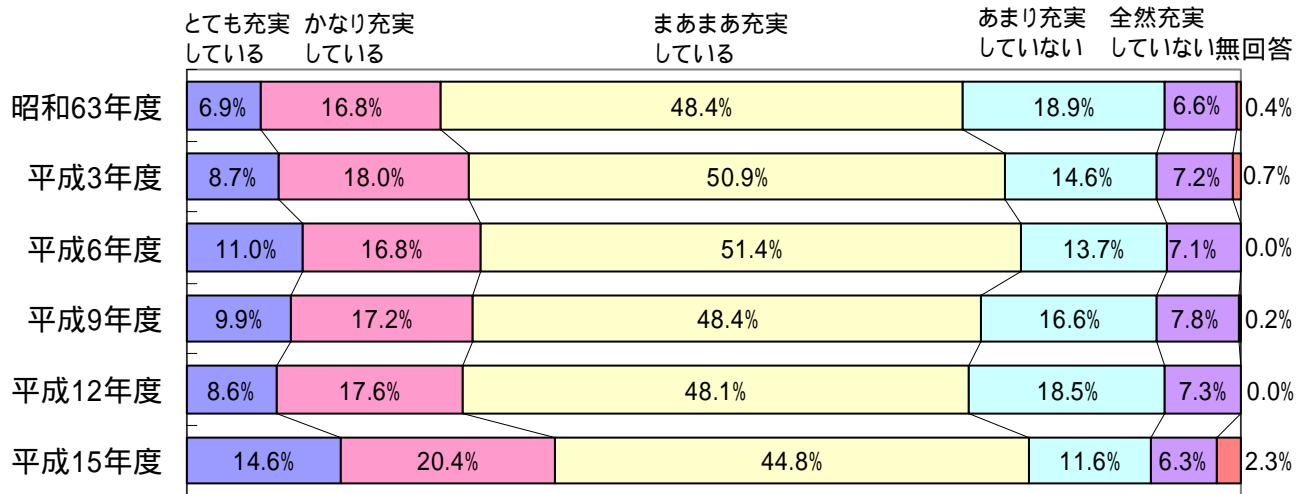
学生生活に対する充実感について、「充実している」（「とても充実している」+「かなり充実している」）という比率を平成6年度からの経年変化でみると、通信教育部の学生の充実感が高まってきている。しかし、一方で平成15年度結果によると一度減少していた「充実していない」という学生も増えはじめている。

第二部は前回の結果とほぼ同じ状態を示しているが、短期大学部は「充実している」と回答した学生の比率は、平成12年度に比較して8.8%増加しており、「充実していない」という学生の比率は7.9%減少している。

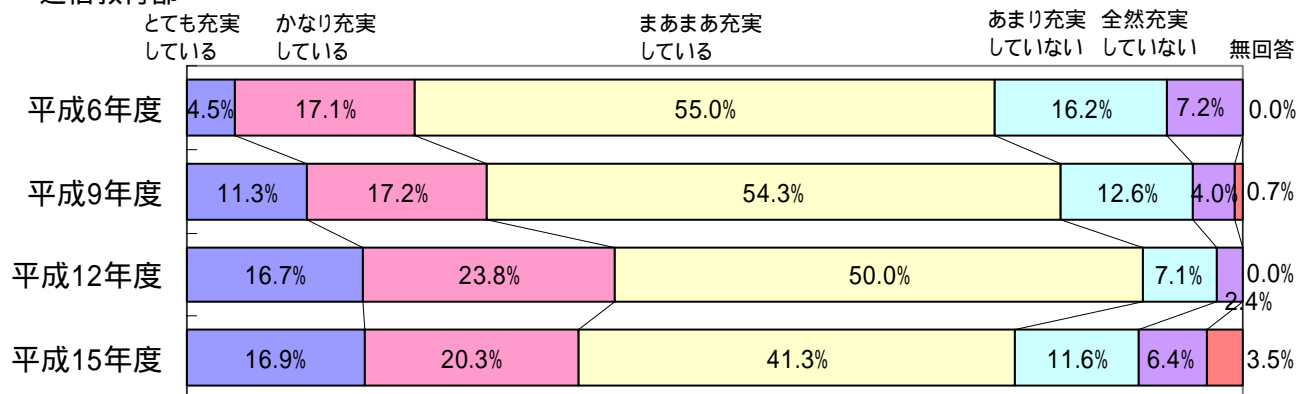
図9-3 学生生活充実感の経年変化



短期大学部



通信教育部



(2) 満足・不満感

不満が多いのは第二部で、不満内容は学部の交流に関するものが高い比率となっている。

平成15年度における不満層(「とても不満」+「どちらかといえば不満」)の比率が50%を超えているものを整理すると以下ようになる。

表9-3 満足・不満感

	項目	第二部	短期大学部	通信教育部
授業について	(1) 教員の教え方について	50.0	53.4	-
	(2) 教員と話のできる機会について	68.2	-	-
	(5) 科目登録時の選択の自由について	50.0	-	-
	(10) 他学部の授業との単位互換について	50.9	52.7	-
	(11) 学部内他学科の受講機会について	-	52.6	-
	(13) 授業料に見合った授業内容・施設	54.2	53.9	-
施設について	(15) 研究施設	51.7	-	-
	(16) 施設・機器備品の貸与サービス	53.8	-	-
	(17) コンピュータ利用環境	62.8	-	-
	(18) コンピュータ利用時間	57.1	-	54.1
	(23) 体育施設・設備	66.5	-	-
	(24) 学生食堂のテーブル数、混み具合	-	68.3	51.8
	(27) 学生食堂等の営業時間	53.3	-	-
	(28) 学生ホール等学生の憩いの場	58.2	-	-
	(29) サークル室・部室	51.2	-	-
学部の対応	(33) 授業情報の知らせ方	55.8	57.7	-
	(34) 事務伝達事項の知らせ方	-	54.6	-
	(37) 学部内の学科転科の機会	52.5	-	-
日本大学全体の対応	(39) 他学部の教員・学生との交流	64.0	62.0	-
	(40) 他学部への編入転入の機会	60.3	-	-
	(41) 他学部の催しや講座の情報入手	65.7	56.9	55.2
	(42) 他学部の図書情報ネットワーク	51.7	-	51.8
	(43) 他学部の就職情報ネットワーク	55.8	-	50.5

(-) は比率が50%未満のものである。

第二部では、不満層が50%を超える項目が21項目と多くなっており、不満層が最も多いのは、授業については「教員と話のできる機会について」(68.2%)、施設については「コンピュータ利用環境」(62.8%)、「体育施設・設備」(66.5%)が多くなっている。

学部の対応よりも、日本大学全体への対応について不満層が多く、「他学部の催しや公開講座の情報入手」(65.7%)、「他学部の教員・学生との交流」(64.0%)となっている。

短期大学部では、不満層は比較的少なく、50%を超える項目は9項目で、施設面に関する「学生食堂のテーブル数、混み具合」(68.3%)に不満が高い。また、「他学部の教員・学生との交流」(62.0%)にも多くの学生が不満を示している。

通信教育部では、不満層が50%を超える項目は5項目である。日本大学全体の対応すべき項目で不満が多いのは3項目である。

5. 日本大学に入学する決心をした理由

日本大学に入学する決心をした理由として、「通学に便利だから」、「有名大学だから」、「規模が大きいから」、「資格が取れるから」が上位にあげられている。

第二部は、「総合大学だから」(27.7%)、「有名大学だから」(23.6%)、「規模が大きいから」(19.0%)が理由の上位3項目である。「通学に便利」という理由は、前回の25.5%から13.2%に減少している。同様に、短期大学部は「通学に便利だから」(20.4%)が1位で、「総合大学だから」(15.6%)となっており、通信教育部は「授業料が安いから」(30.8%)、「通学に便利だから」(20.3%)、「講義科目が充実しているから」(19.8%)、「総合大学だから」(18.0%)が上位4項目である。

3つの学部に通じる理由として、「通学に便利だから」が上位にあげられている。

表9-3 日本大学に入学する決心をした主な理由(3つ以内の複数回答)
(単位:%)

理 由	第 二 部 (夜間部)	短期大学部	通信教育部
通学に便利だから	13.2 (25.5)	20.4 (18.2)	20.3 (32.1)
有名大学だから	23.6 (24.8)	12.3 (15.7)	11.6 (16.7)
総合大学だから	27.7 (23.6)	15.6 (17.0)	18.0 (19.0)
規模が大きいから	19.0 (19.9)	14.4 (18.9)	9.9 (13.1)
伝統があるから	16.1 (17.4)	6.8 (5.8)	10.5 (10.7)
授業料が安いから	13.6 (13.0)	2.3 (2.8)	30.8 (23.8)
友人・先輩がいるから	5.8 (8.7)	5.3 (3.6)	4.1 (3.6)
社会で活躍している卒業生が多い	8.3 (8.1)	5.5 (5.6)	4.1 (4.8)
先生が強く勧めたから	5.8 (6.8)	6.0 (10.1)	7.6 (2.4)
就職に有利だから	6.2 (6.2)	9.6 (7.7)	1.2 (0.0)
資格が取れるから	5.0 (3.7)	15.4 (16.7)	15.1 (25.0)
講義科目が充実しているから	3.3 (3.7)	4.3 (3.6)	19.8 (15.5)
親が強く勧めたから	3.7 (3.1)	4.0 (7.1)	7.0 (4.8)
雰囲気良さそうだったから	4.5 (3.1)	7.3 (7.7)	3.5 (0.0)
大学作成の進学ガイドが良かった	- (1.2)	- (2.8)	- (7.1)
施設が整っているから	2.1 (0.0)	10.6 (6.9)	4.1 (7.1)

注) ()内は平成12年度の結果

6. 日本大学を魅力と誇れる大学にするための要件

第二部と短期大学の学生は比較的類似性があり、第1番に「魅力的な授業の多い大学」にすべきであるという意見が多く、第一部と同様40%を超えている。

通信教育部は「魅力的な授業の多い大学」にすべきであるという意見が62.8%を占めており、授業そのものに対する期待が強いものと思われる。

表9 - 4 魅力と誇れる大学にするための要件

(単位：%)

項 目	第 二 部 (夜間部)	短期大学部	通信教育部
魅力的な授業の多い大学	44.2	42.3	62.8
学力的にレベルの高い大学	37.3	27.0	20.3
多機能キャンパス大学	24.8	29.5	18.0
学部間の単位互換ができる大学	13.2	12.3	18.6
総合的機能が発揮できる大学	13.2	8.8	15.7
社会的評価の高い研究者がいる大学	14.5	16.9	14.5
教育施設や実習施設の整った大学	10.3	15.1	14.5
視野の広い幅広いつき合いができる大学	8.7	4.0	14.5
総合キャンパス大学	21.1	11.8	11.0
他大学との単位互換ができる大学	9.1	8.8	8.7

7. 不安・悩み・トラブル

(1) 不安・悩み・トラブルの内容

「就職や将来の進路」と「勉強上のこと」が不安・悩み・トラブルの上位を占めている。

入学以来、今までにどのような不安・悩み・トラブルがあったかをたずねたところ、「就職や将来の進路」と「勉強上のこと」がいずれの学部も上位1位、2位を占めている。また、第3番目には、「友人などとの対人関係」があげられている。

表9-5 不安・悩み・トラブルの内容（複数回答）

（単位：％）

内 容	第 二 部 （夜間部）	短期大学部	通信教育部
就職や将来の進路について	53.7 (62.1)	61.2 (62.4)	44.2 (38.1)
勉強上のこと	58.7 (47.2)	70.3 (68.9)	59.9 (70.2)
友人などとの対人関係について	25.2 (34.2)	28.2 (39.5)	20.9 (25.0)
人生観について	23.6 (29.8)	17.6 (23.4)	15.1 (25.0)
異性や性の問題について	13.6 (29.2)	13.1 (21.5)	9.9 (15.5)
性格や能力について	22.7 (28.6)	23.2 (33.9)	18.0 (20.2)
アルバイト上のこと	22.3 (23.0)	13.4 (21.0)	17.4 (13.1)
家計・学費・借金等の経済問題	26.4 (22.4)	21.2 (21.7)	26.2 (23.8)
健康上のこと	12.0 (15.5)	15.6 (14.8)	16.3 (22.6)
家族や家庭内のこと	9.5 (13.7)	7.8 (11.8)	13.4 (9.5)
専攻分野について	16.9 (11.2)	21.7 (26.4)	27.3 (21.4)

注) ()内は平成12年度の結果

(2) 日常生活における不安感

ささいなことに対してイライラしたり、不安感を持つ人が多い。

「ささいなことに対してイライラする」という人が第二部と短期大学部で多く、

「ささいなことに対して不安感を持つ」という人が短期大学部、通信教育部で多くなっている。

表9-6 日常生活における不安感（複数回答）

（単位：％）

内 容	第 二 部 （夜間部）	短期大学部	通信教育部
食欲がなくなることが多い	13.6 (13.0)	13.4 (15.9)	12.2 (9.5)
眠れないことが多い	26.0 (29.2)	18.6 (18.0)	28.5 (21.4)
ささいなことに対してイライラする	34.7 (34.8)	36.8 (36.3)	27.9 (26.2)
ささいなことに対して不安感を持つ	29.8 (32.9)	35.0 (37.3)	36.0 (23.3)
他人が気になり困ることが多い	21.9 (22.4)	22.9 (27.5)	20.3 (17.9)
気楽に友人の中に溶け込みにくい	22.7 (26.7)	18.4 (21.0)	25.0 (19.0)

注) ()内は平成12年度の結果

8. 進路に関する情報・知識についての希望

「自分の本当の職業適性」を知りたいというニーズが最も多い。

進路に関する情報・知識の中で最も求められていることは、いずれの学部も「自分の本当の職業適性」についてである。

第2番目、3番目についてみると、第二部は「社会人としての常識」(22.7%)、「各職業に要求される能力・適性」(16.5%)、短期大学部は「社会に通用するコンピュータの知識」(17.1%)、「社会人としての常識」(17.4%)、「各職業に要求される能力・適性」(16.4%)、通信教育部は「社会に通用するコンピュータの知識」(18.0%)、「公務員・教員・資格試験の対策」(20.9%)などがあげられている。

表9 - 7 進路に関する情報・知識についての希望（3つ以内の複数回答）

（単位：％）

内 容	第 二 部 (夜間部)	短期大学部	通信教育部
自分の本当の職業適性	42.1 (39.8)	41.3 (48.3)	38.4 (29.8)
社会人としての常識	22.7 (23.0)	17.4 (16.3)	9.3 (14.3)
社会に通用するコンピュータの知識	13.6 (21.1)	17.1 (18.5)	18.0 (20.2)
社会に通用する語学レベル	15.7 (18.0)	10.6 (7.5)	16.3 (10.7)
政治・経済の基礎知識	10.7 (17.4)	5.8 (7.3)	8.1 (7.1)
各職業に要求される能力・適性	16.5 (17.4)	16.4 (16.3)	15.1 (13.1)
公務員・教員・資格試験の対策	14.0 (17.4)	9.1 (9.2)	20.9 (19.0)
主張・価値観形成に参考となる知識	11.6 (14.9)	6.8 (9.0)	11.0 (13.1)
社会に通用する専門知識・技術水準	12.8 (8.1)	11.8 (9.4)	8.7 (11.9)
各種資格の取り方	15.7 (8.1)	10.6 (9.4)	16.3 (7.1)
就職に有利な大学生活中の活動	6.2 (5.0)	8.1 (7.3)	2.9 (2.4)
この学部卒業生の仕事の種類・地位	5.8 (4.3)	4.0 (3.6)	5.2 (4.8)
この学部卒業生の就職先企業名	2.1 (3.1)	5.0 (4.9)	2.3 (2.4)
卒業生の就職体験	1.7 (0.6)	4.3 (3.4)	1.7 (0.0)

注)()内は平成12年度の結果